

高等学校 令和7年度 教科		家庭	科目	家庭基礎
教科：	家庭	科	家庭基礎	単位数： 2 単位
対象学年組：	第 2 学年 1 組～ 8 組			
教科担当者：	(中村 本橋 鈴木			)
使用教科書：	(実教出版 図説 家庭基礎			)
教科	家庭	の目標		
【知識及び技能】		人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付けている。		
【思考力、判断力、表現力等】		生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。		
【学びに向かう力】		様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。		

科目 家庭基礎		の目標
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうと実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【知識及び技能】生涯発達の視点で青年期の課題を理解する。家族・家庭と社会との関わりについて理解すること。乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解する。高齢者の心身の特徴、取り巻く社会環境、自立生活の支援や介護について理解すること。生活支援に関する基礎的な技能を身に付ける。自立生活を支えるために家族や地域社会の果たす役割を考察すること。	生涯の生活設計 青年期の自立と家族・家庭 子供の生活と保育 高齢者の生活と福祉 共生社会と福祉	【知識・技能】生涯発達の視点で青年期の課題を理解できる。家族・家庭と社会との関わりについて理解できる。乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解できる。高齢者の心身の特徴、取り巻く社会環境、自立生活の支援や介護について理解できる。	○	○	○	
	【思考力、判断力、表現力等】家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について考察すること。乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けること。子供を産み育てることの意義について考えること。	【思考・判断・表現】家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について考察できる。乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。子供を産み育てることの意義について考えることができる。生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。自立生活を支えるために家族や地域社会の果たす役割を考察できる。					
	【学びに向かう力】生涯を見通し、主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的・体験的な学習活動に粘り強く取り組み自分の家族や家庭、地域の生活の充実向上を図ること。	【主体的に学習に取り組む態度】生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的・体験的な学習活動に粘り強く取り組み自分の家族や家庭、地域の生活の充実向上を図ることができる。					
	期末考査			○	○		1
							21

2 学 期	【知識・技能】 ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮して住居の機能について理解し、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けること。目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報を得ること。被服構成衛生について理解し被服の計画・管理に必要な技能を身に付けること。栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けること。食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けること。	ラ 住生活と住環境 衣生活と健康 食生活と健康	【知識・技能】 ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮して住居の機能について理解し、適切な住居の計画。管理に必要な技能を身に付けている。目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。被服構成衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、調理に必要な技能を身に付けている。	○	○	○	
	【思考力、判断力、表現力等】 住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて考察すること。被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装を工夫すること。食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について考察し、自己や家族の食事を工夫すること。		【思考力、判断力、表現力等】 住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて考察できる。被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理、着装を工夫できる。食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について考察し、自己や家族の食事を工夫している。				
	【学びに向かう力】 安全や環境に配慮した住生活や健康な衣生活や食生活を営むため実践的・体験的学習に粘り強く取り組んでいること。持続可能な社会を構築するために実践的・体験的に学んでいること。		【主体的に学習に取り組む態度】 安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫し、健康な衣生活や食生活を営むために実践的・体験的学習に粘り強く取り組んでいる。持続可能な社会を構築するために実践的・体験的に学んでいる。				
	期末考査			○	○		1
							36

3 学 期	【知識・技能】 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解すること。消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意志決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解すること。生活情報を収集、整理できること。生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解し、持続可能な社会へ参画することの意義を理解すること。	生活における経済の計画 消費行動と意思決定 持続可能なライフスタイル	【知識・技能】 家計の構造や生活における経済と社会の関わり、家計管理について理解できる。消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意志決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解している。生活情報を収集、整理できる。生活と環境との関わりや持続可能な社会へ参画することの意義を理解できる。				
	【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージや社会保障制度と関連付けて考察すること。自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意志決定に基づいて行動することや責任ある消費について考察工夫すること。持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全安心な生活と消費について考察し、ライフスタイルを工夫すること。		【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性についてライフステージや社会保障と関連付けて考察できる。自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意志決定に基づいて行動することや責任ある消費について考察工夫できる。持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう安全安心な生活と消費について考察し、ライフスタイルを工夫できる。	○	○	○	
	【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能な社会を構築するために実践的・体験的な学習活動に粘り強く取り組むこと。		【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能な社会を構築するために実践的・体験的な学習活動に粘り強く取り組んでいる。				
	期末考查			○	○		1
							13
							合計
							70